

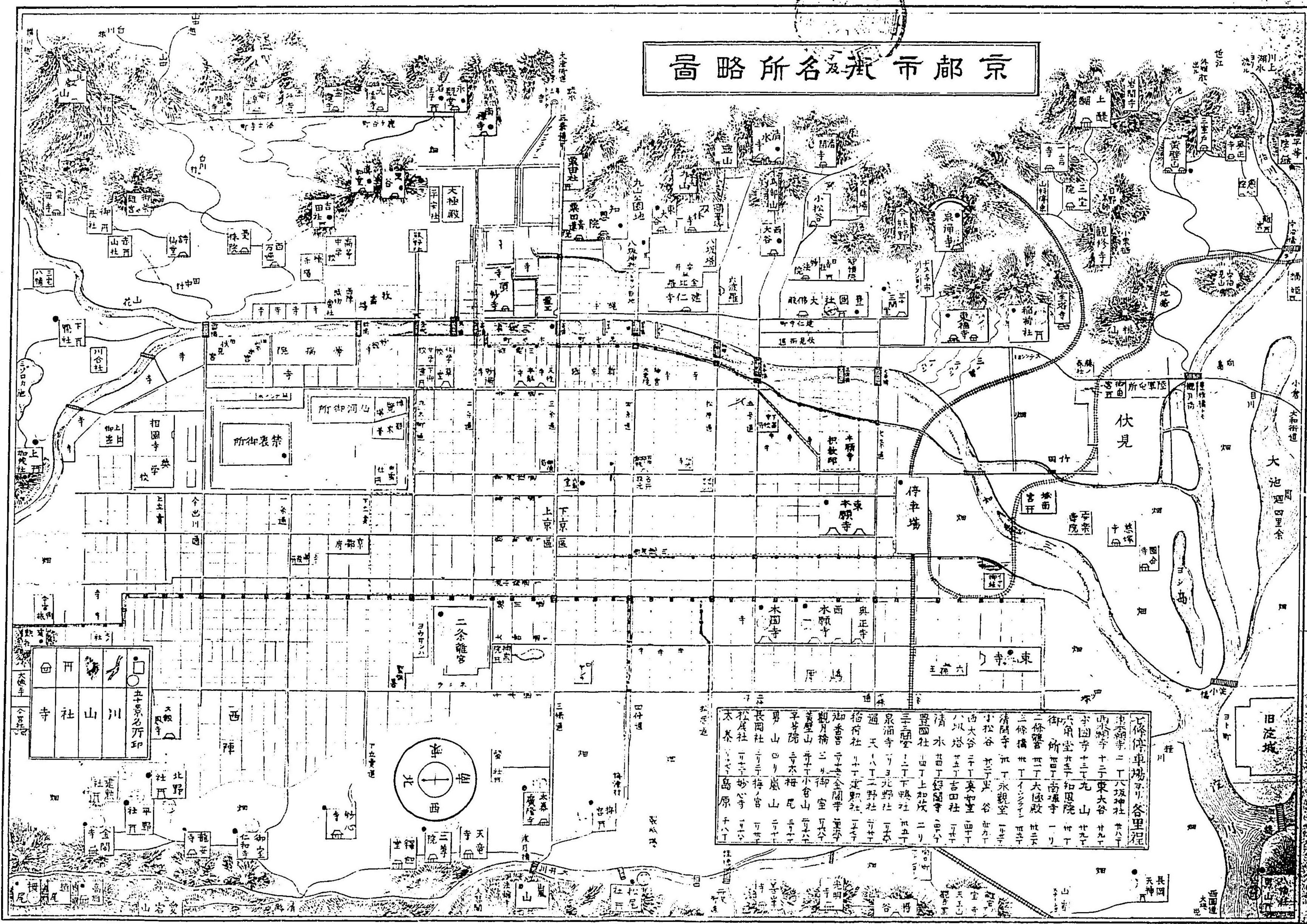
殿名慶

新方

培是均

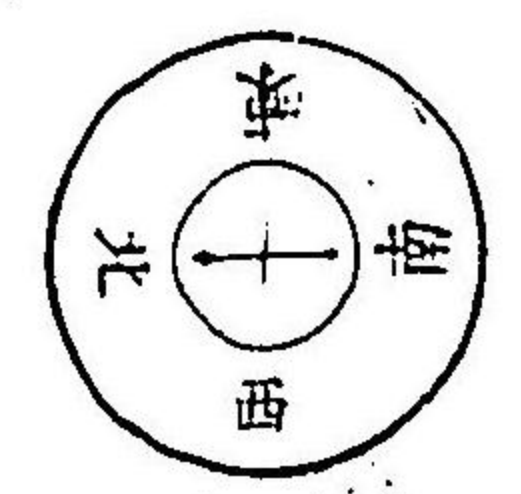
細審

京師名所略圖



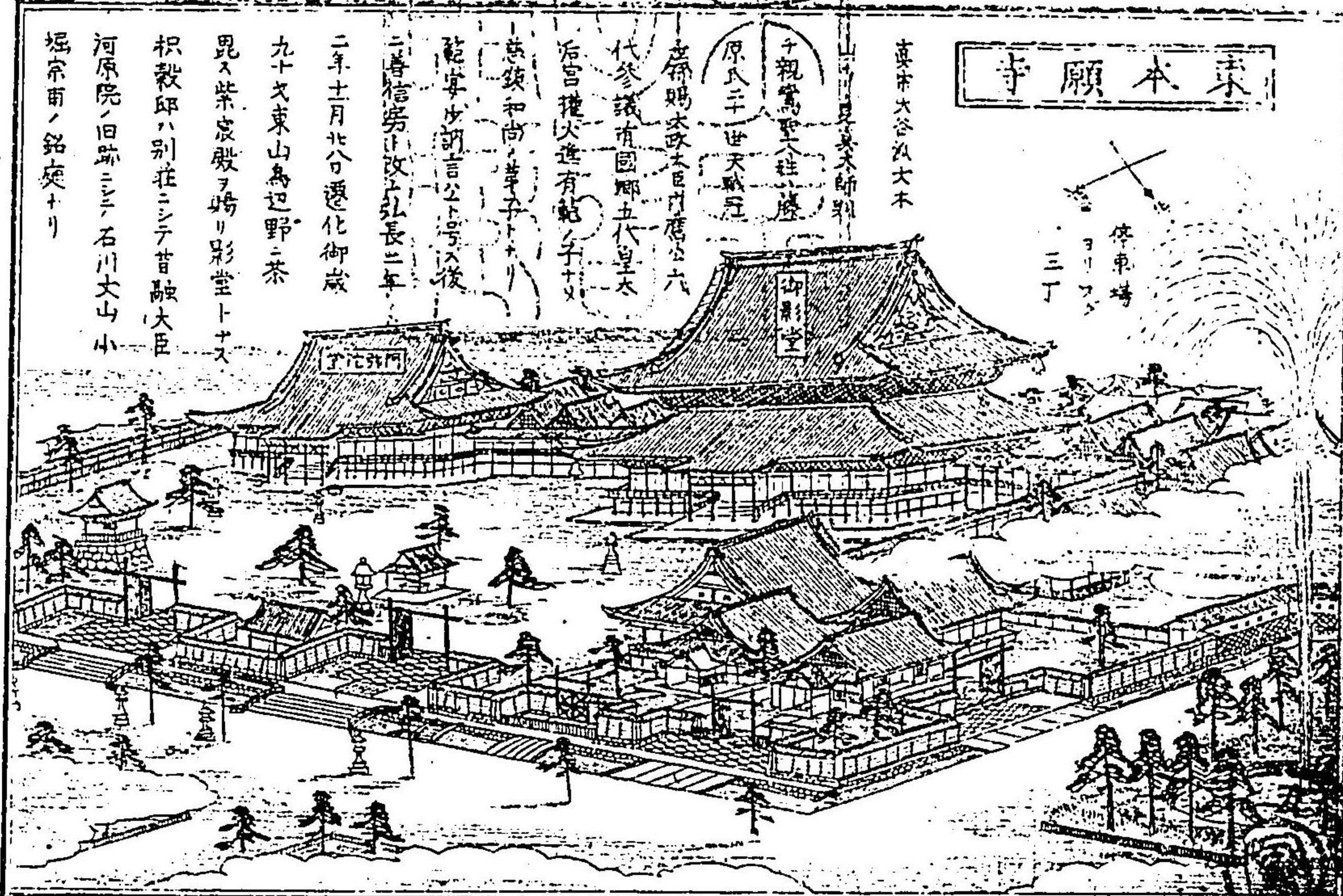
明治廿五年五月十五日印刷
 石田有年

七條停車場より各里程
 東山門 二里八分
 南門 二里五分
 西門 二里五分
 北門 二里五分
 東山門 二里八分
 南門 二里五分
 西門 二里五分
 北門 二里五分



特60
809

東本願寺



東本願寺
 山内良太師判
 子親爲聖大住持
 原八二世天啟三
 應神天皇天皇百四十六
 代參謀有國卿立八皇太
 后宮權大進有純
 皇孫和尙
 龍皇少訓言公ト号ス後
 二喜信男ト改テ弘長二年
 二年十月廿八日遷化御歳
 九十九歳東山爲記野ニ茶
 毘入柴炭殿ヲ焼リ影堂トナス
 枳敷邸ハ別荘ニシテ昔融大臣
 河原院ノ旧跡ニシテ石川大山
 堀常雨ノ銘矣ナリ

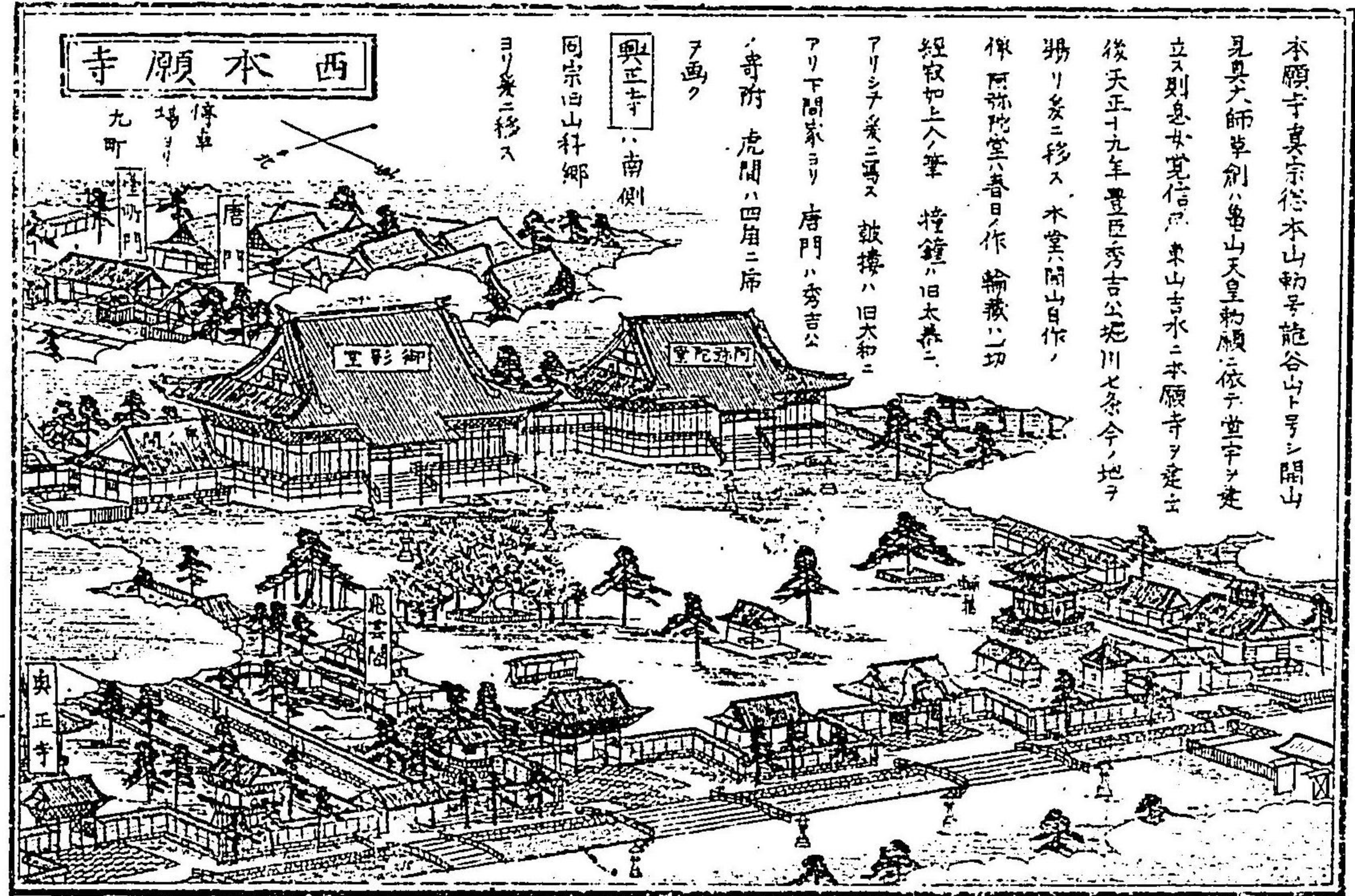
第一号



本園寺

大光山本園寺、日蓮宗大本山開基、日蓮上人ニシテ初ノハ相洲鎌倉松葉谷ニ法華堂トナツテ建立アリテ一宗最初ノ精舎ナリ貞和元年北明帝勅ヨリ今ノ地ニ移ス此地ハ六條利官爲教ノ館ニ又源義経ニ其居ラレシ旧地ナリ人唐ノ社殿内ニアリ清正公ノ首塔又信長公ノ自見ノ座敷アリ

号三第



西本願寺

本願寺莫宗徳本山初号龍谷山下号開山見具大師草創ハ龜山天皇勅願ニ依テ堂宇ヲ建立ス別号覺信院東山吉水ニ本願寺ヲ定ム後天正十九年豊臣秀吉公宛川七条今ノ地ヲ賜リ移ス木堂開山自作ノ像阿彌陀堂春日ノ作輪藏一切經教如上ノ筆 控鐘ハ旧太巻ニアリシチ後ニ移ス 鼓樓ハ旧大和ニアリ下開家ヨリ 唐門ハ秀吉公ノ寄附 虎間ハ四角ニ席ヲ画ク 興正寺ハ南側 同宗白山科郷ヨリ移ス

号二第

京都の所境事之圖



六角堂

六角堂頂法寺、天台宗ニシテ開基ハ聖徳太子ナリ本尊如意輪觀音ハ金像三十一八歩ノ尊像キリ當寺西園十八亩札所草創ハ用明天皇二年ニ太子御監ヲ受立シ給ヒ大皇小皇妹ニ入道シ尊號ノ別當トス

又太子此六角堂ヲ作シ爲村本所ニ永ル山吹折田郷古里上ユフニ大木ノ杉アリ靈村ナルヲ知給ヒ則チラシメ化ホヲ株モ交ヘ宮シモツ堂堂ナリ

又見真大師ノ深ク草索シ給フ傳アリ畧ス

停車場ヨリ
真北十三町

号四第



禁裏御所

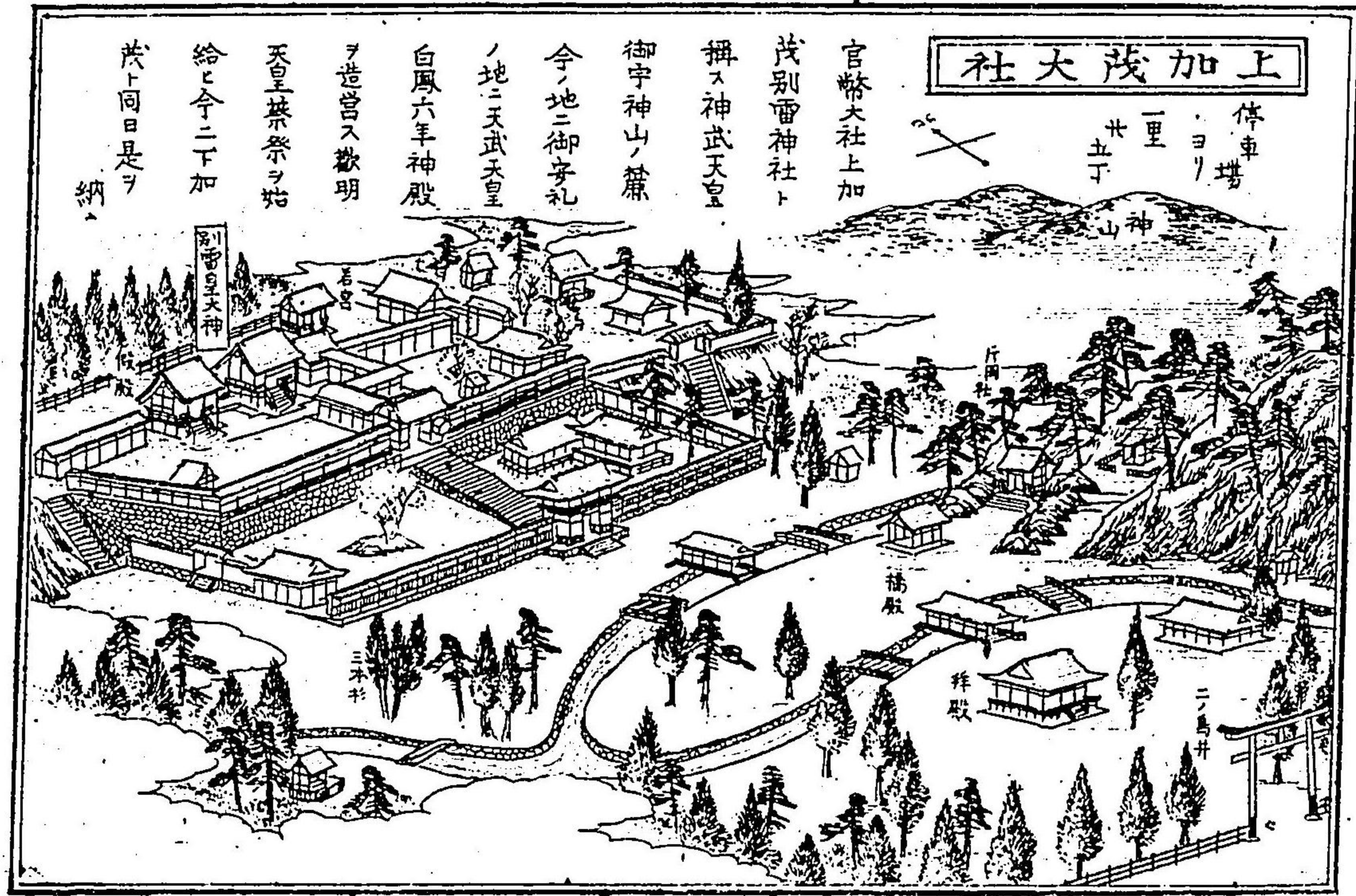
山城国愛宕郡平今城禁裏御所ハ人皇五垂十代桓武天皇延暦三年奈良都ヲ此平今ニ遷シ給フ以降テ百廿代今上天皇三至ルマテ一千百有除年都ニシテ今尚御所トス

仙洞御所 東南ニラリ天皇御位ヲ譲リ給フ所ニシテ鉦苑ノ隣地ナリ

大倉御所 仙洞所ノ北ニ皇太后宮ノ棟セ給ヒシ街所ナリ

停車場ヨリ
三十四丁

号五第



社大茂加上

官幣大社上加
 茂別雷神社ト
 稱ス神武天皇
 御宇神山ノ麓
 今ノ地ニ御宇礼
 ノ地ニ天武天皇
 白鳳六年神殿
 ヲ造宮ヲ敬明
 天皇ヲ祭祭ヲ始
 給ト今ニ下加
 茨上同日是ヲ
 納



社大鴨下

官幣大社加茂御祖神社ト稱ス今ノ
 神ニ座ニ依姫命建角身命也崇神
 天皇瑞籬ト造蹟ヲ天武天皇白鳳六
 年神殿御改造アリ
 又例年五月五日
 初使参向アリテ
 葵ノ御祭ヲ
 コナハル
 川合ノ社
 本社手前
 ニアリ



吉田社

官幣中社吉田神社ハ
 俊御賀豆智命 伊弉
 比命 天兒屋根命
 比賣神 西屋ヲ祭ル
 最上神祇場兵太元
 宮ハ本宮ノ東ニアリ天
 神地祇八百方神ナリ
 嵯峨天皇和州生
 駒山ヨリ如意ノ嶽ニ
 移シ其後以神樂奉
 岡ニ遷座ス
 明皇水ト名シ銘
 井アリ

停車場
 三下ヨリ
 五下ヨリ
 真如堂
 ツツン
 吉田社
 太元宮
 八百方神

号九第



銀閣寺

慈照寺ハ鹿ヶ谷海士
 寺ニリテ一名銀閣寺
 ト稱シ禪宗兼窓園
 師ノ開基トス初ノ豆
 利將軍義政公文明十
 二年世務ヲ諒リ開
 居シ給フ別荘ニテ故ニ
 東山殿ト号ス
 月待山麓三重ノ銀閣
 フ建テ林泉ノ風景ハ
 無比ナリ 観客目ヲ
 驚マシ常コ入蹟々ヘ
 ス

東北ニ當リ
 淨土寺村ノ
 内ニアリ
 停車場ヨリ
 四十八町

号八第



黒谷

停車場
北東ヨリ
北九町

紫雲山金成光明寺黒谷
ハ海老鎮西派大本山ナリ
元祖田光大師ノ旧蹟ニシ
テ叔山西塔ノ黒谷ヲ寫
シ新黒谷ト稱ス木尊ハ
元祖大師ノ像ヲ安置入
脇壇ニ見真大師共ニ自
作ナリ當山ニハ紫雲石
又太夫歎盛熊谷蓮
生法師石塔又自作ノ
像アリ又海々安心ノ
要文一枚起証文是
第一什宝ナリ

第一十号

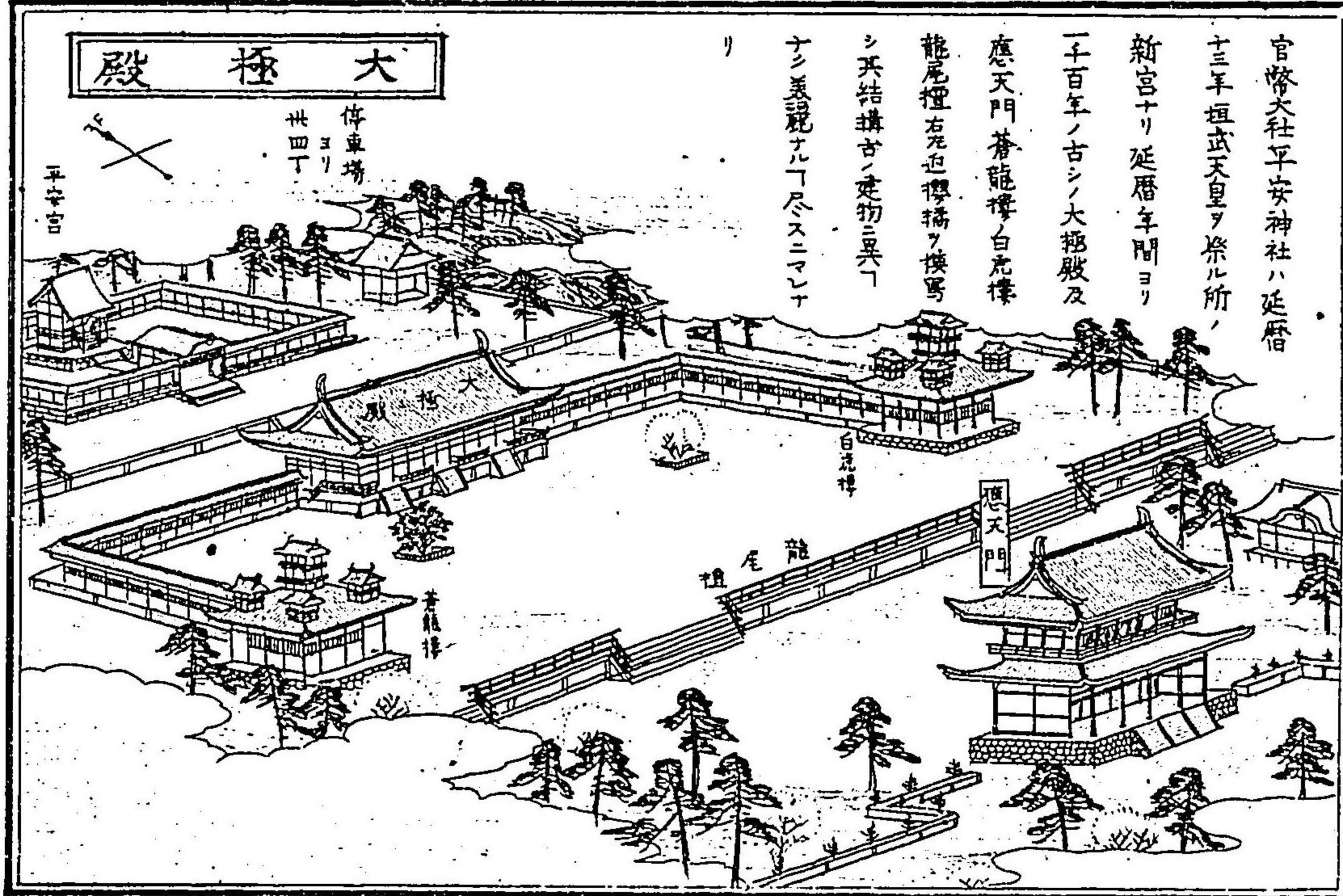


真如堂

停車場
北東ヨリ
三十六町
黒谷ノ北

鈴聲山真正極樂
寺真如堂ハ天京宗
ニシテ開基ハ戒算
上人ナリ本尊阿
彌陀佛ハ三尺寸立
像慈覺大師ノ作也
ハ本尊ハ江州苗鹿
明神ヨリ神木ヲ得給ヒ
大師彫刻ス永觀二年
垂養ヨリ雲母坂地蔵
堂ニ移シ又神樂岡白川井院ノ
離宮ノ地遷正曆三年伽藍ヲ
建ル今元真如堂是ナリ又元禄五年
京極今出川ヨリ此地ニ遷座ス

第一十号



大極殿

停車場
北四丁
五等宮

官幣大社平安神社ハ延暦
十三年桓武天皇ヲ祭ル所ノ
新宮ナリ延暦年間ヨリ
一千百年ノ古シノ大極殿及
應天門 蒼龍障 白虎障
龍尾障 左近衛障ヲ撰寫
シ其結構古ノ建物ニ異ナ
リナシ美觀ナルト尽スニシテ

号三十第



永観堂

停車場
北六町
南極門
東門
スグ

聖衆来迎山禪林寺永
観堂ハ海土西山汎ナリ
本堂阿弥陀如来ヲ觀木
尊ト號シ三尺余ノ立像也
當寺ハ清和天皇ノ御願
所ニシテ中興開基永観
律師永徳三年行道念佛
おしすす一木尊檀ヨリ
とリヨク永観とそし観
ヨク律師波と流し是
未世ノ衆生ノ引接の証ナ
リとして自ら由縁と記され
たり

号二十第

溜水ニイラケイ

停車場ヨリ
三十六町
大極殿ノ
東

琵琶湖疏水工度、京都知事
北垣國道殿發意シテ六箇、
利益ヲ目的トシ明治十六年十
月始メテ都下廿五町人中ヨリ
賛成ヲ得十八年一月内務
省ノ特許ト國庫ヨリ十五
万円補助ノ指令アリテ
府兵十五万外ニ西區風助
金世充金田如天除ハ一般市
ヨリ徴収シ廿三年經費計九
金百數十万余ノ見積リニテ
疏水開行式廿三年四月出ル



号四十第

南 禪 寺

待車場
ヨリ
三十八丁
東北
四季風景
美也

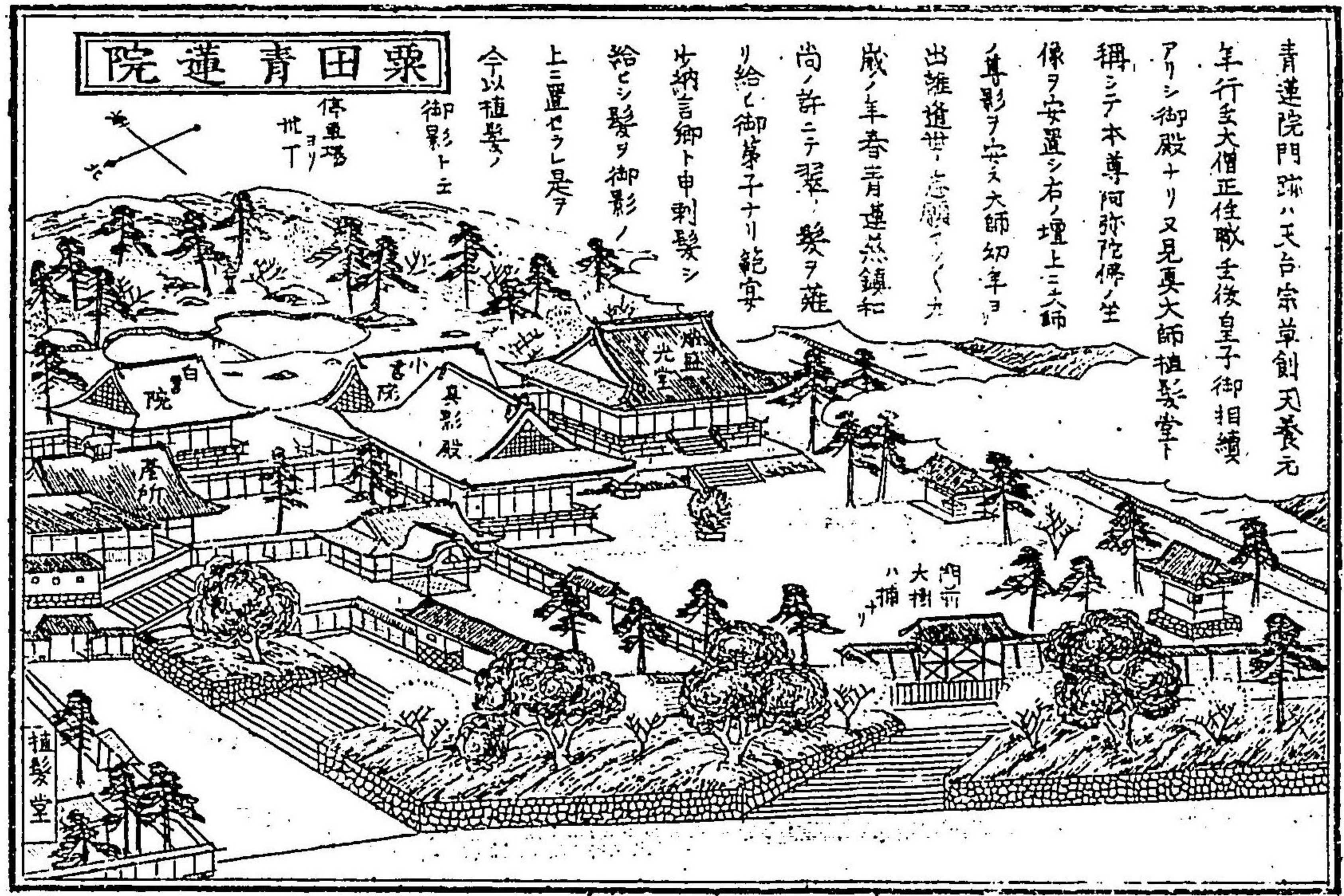
瑞龍山太平興國南禪院今
ハ白雲山法皇ノ皇子ナリシ
關山大明國師ニ賜テ五岳ノ
上苑ヲ蒙ル木尊ノ釋伽
佛坐像脇土ノ文殊菩薩
又金剛力士兩壇上ニハ
龜山衣上皇ノ神牌ニ崇
奉ル又山門前ニ右代木
石燈籠アリ佐久間大膳ノ
三引ノ紋所ヲ記ス又疏水
線ハ後論見スナリ
山上ニ云物ノ瀧駒僧上社
アリ



号五十第

欠

MISSING



粟田青蓮院

青蓮院門跡ハ天台宗草創天養元年行基大僧正住敷壬辰皇子御相續アリシ御殿ナリ又見夏大師植髮堂ト稱シテ本尊阿彌陀佛ノ坐像ヲ安置シ右ノ壇上ニ三六師ノ尊影ヲ安テ大師幼年ヨリ出離道世志願ニシテ大僧ノ年春青蓮院鎮和尙ノ許ニテ翠髮ヲ薙リ給ヒ御髮子ナリ範尊ノ女納言卿ト申刺髮シ給ヒシ髮ヲ御影ノ上ニ置セラレ是ヲ今以植髮ト云

第七十葉



知恩院

菩提山大谷寺 知恩院ハ海土宗 總本山ニシテ鎌 西派ナリ元祖四阿 光大師初ノ比叡 山持室坊ノ敷テ安 源空下号建曆 二草正月廿吉遷 化藏八十徳川村 軍ノ命ニヨリ大伽 藍ヲ建テ大師 自作ノ像ヲ安置 八山門額ハ靈光 皇本堂額ハ後奈 良院ノ御真筆ナリ 山上ニ大御御廟大鐘アリ 日本第一名所ノ地ナリ

第八十葉

欠

MISSING



八坂神社

公園地
西
南
北

官幣中社 八坂神社
坂神社旧名板
園社ト号シテ祭
神ノ本末ニ過カ
公ニ五男三女
稲田恒ナリ聖
武天皇天平
五年吉備大
臣播磨守リ
歸朝ノ兵後
貞觀十一年今地ニ遷座
入向十八年疫病アリ神泉
苑ニ遊ル是ヲ例トシテ秋園
會トシ今ニ七月十七日西日山鉾祭
禮式アリ日不月一ノ神祭ナリ

公園前地ハ遊歩
賃管業者致四戸アリ
中ニ一戸トテ大石良
推ノ推シル木
バ今ニアリ
南側ニ毎年都
播祇園屋ニ居
ル有樂館ニ奉
會館會日々
住ナリ

第一北第



丸山公園

知恩院
ス
南
アリ

東山公園ハ明
治廿五年比ヨリ
出来東山第
一ノ風景ニテ山
上ニハ山ヲ控南
ニ東大谷ノ廟長
奈又双林寺奥
葛原ヲ見渡北
草頂山西ノ行ハ
松神社アリ鳥居
ヲ出レハノ名ナル
料理店アリ祇園
新地西門前ニアリ

丸山公園



八坂塔

八坂法親寺、上宮太子、草創ニテ古ハ
 権門御蓋殿重テルル九層シテ今ハ五層塔
 一基ト本尊ト太子堂、ニ致レリ
 靈鷲山 正法寺ト号ス傳教大師開
 基中真國阿上人住職ニテ時宗ト改ム
 招魂社 高座寺ノ山上ニテリ明治九年、創立准新前修勳王及
 國事關係ノ人及明治七年清國ノ戦死病死ノ清魂牌石アリ

号三北第



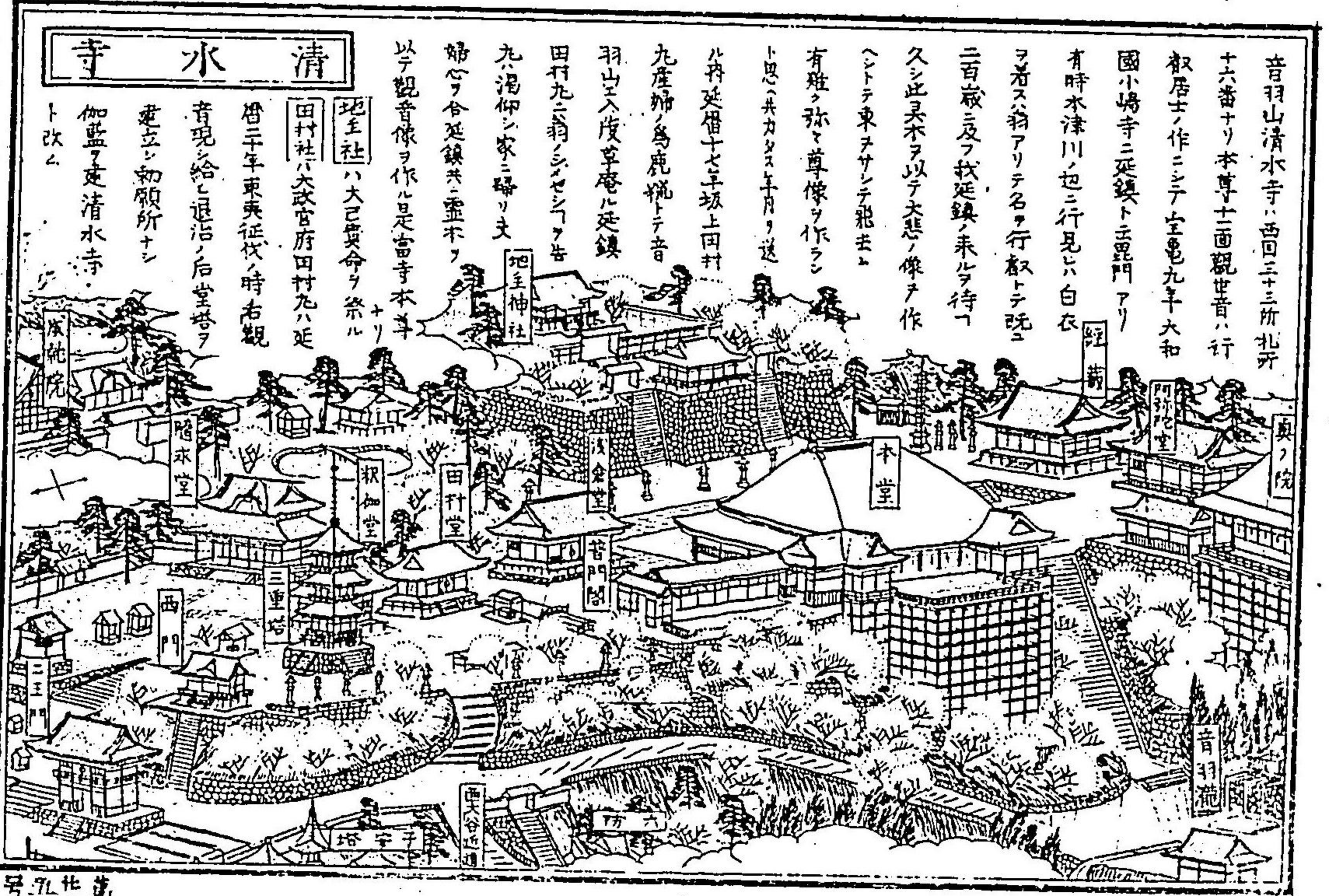
東大谷

大谷ハ東本願寺ノ祖廟ナリ阿彌陀堂本尊ハ安阿彌ノ作真一
 大師ノ廟ハ山上ニ墳上ニ虎石ノ形ニ似タル石アリ石始ハ
 大師往生ノ地柳馬場相小路尻石丁ニアリ秀吉公時伏見城
 中ニ移ス天徳元禄年中造営アリ 又徳川將軍ヨリ東
 山ノ地ヲ賜ルト云フ
 長樂寺 大谷ノ北ニアリ
 開基傳教大師國阿上人時宗ナリ
 双林寺 大谷ノ南アリ同大師開基
 高座寺 双林寺ノ南アリ 禪宗昔自然居士住居ナリ中興三
 紅和南開基ニ慶長年間秀吉公政高座院殿建立スル靈舎ナリ

号二北第

欠

MISSING



清水寺

音羽山清水寺、吾国三所北野十六番ナリ本尊土面觀世音ハ行叔居士ノ作ニシテ宝龜九年大和國小崎寺ニ延鎮トテ西門アリ
 有時水津川ノ地ニ行見ハ白衣ヲ着ス稱アリテ名ヲ行叔トシ既ニ百歳ニ及フ杖延鎮ノ未ク待テ久シ此其本ヲ以テ大慈ノ像ヲ作シトテ東ヲサシテ龍去ム
 有難ク稱々尊像ヲ作ラシト思ハ共カラス年月ヲ送ル
 此持延備十七年坂上田村九産師ノ爲虎端トテ音羽山ニ入度草庵ル延鎮田村九ニ稱シシメシコトヲ告
 九産師シ家ニ歸リ夫婦心ヲ合延鎮ニ盡テ以テ觀音像ヲ作ル是當寺本尊ト改ム
 地主社ハ大己貴命ヲ祭ル
 田村社ハ大政官府田村九ハ延暦三年東夷征伐時右親
 音現給ニ退治ノ后堂塔ヲ建立シ初願所ナシ
 伽藍ニ建清水寺ト改ム

号九世第



西大谷

西大谷ハ本願寺ノ御廟ニシテ五奈橋ノ東ニアリ富山初ノ知恩院山外ニ崇養院ノ地ノ其遺跡ナリシテ慶長年中此所ニ移シ旧号ヲ以テ大谷御廟又唐門ノ前蓮池ニハ赤白ノ花ニラキ白石ヲ以造リタ目鏡橋アリテサナカラ津土極樂ノ心意寫セリ
 東ノ出ハ鳥辺山妙見
 おノ人傳共エノ墓アリ
 是ヨリ清水寺ノ出ル道ニテ真宗門徒ノ石塔ハ
 停車場ヨリ
 二十町
 柳ノ廟
 其數何万ノ致ラシルニヨシク清水四丁ナリ

号六世第

欠

MISSING

豊國神社

別格官幣豊國神社

祭神 贈正一位大政大臣豊

臣秀吉公ナリ

大佛方廣寺

右同所ノ北ニアリ

大佛方廣寺、後陽成院天皇

天正六年豊臣秀吉公ノ建立ニ

本尊 盧舍那佛ノ坐像高サ

一丈八寸三佛殿東西七間南

北四上間廣七手秀頼公再

建シ徳川三代寛文三年銅像

ヲ本佛ニ改メ寛政十年七月洛

雷ノ爲佛像撞門ニ悉ク壊ス

今仮堂ニ御頭ヲ拜ス

大鐘 高サ二丈四尺厚サ一尺七

大石垣六圍々所々名表ハ故所

寺アリ

耳塚 豊國社ノ前南西角

ニアリ

大祿元年朝鮮征伐ノ時敵方軍兵

ヲ討取首ヲ日本(渡サシ)蓋ナケレバ

助割シテ送り此所ニ埋メ耳塚ト云

停車場ヨリスク東 十四丁



号八廿第

欠

MISSING

博物館 帝國博物館

治世八年ニ此大佛境内ニ開カレ御物

及日本全國ノ重物ヲ美ニ從覽ヲ免

三十三間堂 蓮華王院ト云テ長寛

二年後白川院法皇ノ御殿ニ依テ千手

觀音ヲ千休ヲ安置シ建立ス又大夫

教ハ堂裏手ニアリテ貞享三年ノ頃

紀嘉和佐甚八郎通矢今百廿三敷ヲ

射タリ○堂中ハ千余年ノモノナリ

妙法院 博物館ノ東ニアリ

妙法院宮ノ御殿ナリ今從覽

ヲ許サレ御殿御物等拜見ナリ

智積院 真言新義ト

テ正憲法印開山也

日吉社 後白川

院御勸請ナリ

博物館三十三間堂



第三号



東福寺

佛衣閣

停車場
東伏見街道
アリ
十八町

惠日山東福寺ハ、禪宗五山第一ニシテ
龜山天皇文永九年、卍創開基ハ、空
覺禪師ナリ、林四開山聖一國師
惠日山ト云フ、凡國師ノ、新ハ此寺ノ
開基ヨリ始ルト云
當寺ノ涅槃像ハ、應永十五年
六月北殿司五十七歳ニシテ、画
ケル筆ナリ、凡入大道和尚ノ、筆
子ニシテ、幼年ヨリ画ヲ好ミ、一生
神佛ノ感ヲ得タル圖画多シ
當寺紅茶ノ名所ニシテ、通天橋
ヨリ下ヲ見渡シ、頗ル雅地ノ景色
ヲ得ヌ、弘殿・法堂・方丈・理庫ハ
見更ニ、建物ナリシヲ、明治五十六年ノ
比、天災ノ為、焼失シ、美景ウシノウ



泉涌寺

佛衣閣

停車場
東伏見街道
アリ
十八町

東山泉涌寺ハ、真言宗ニシテ、弘法大師ノ
開基ナリ、中興開山俊祐法師ハ、我禪ニシテ
兼久元年ヨリ、天台真言禪淨四宗ヲ
兼学ス、八十六代四條院帝ヲ、當山ニ廟シ
奉リヨリ、代々帝ヲ、奉リ奉ル
舍利殿ハ、彼ノ有名ナル羅刹
足疾鬼掠奪シ、シテ、意欲天降
伏ヲシテ、取返シ、玉ヒシ重物也
。上御陵ハ、先帝ヲ、崇リ奉ル
所ナリ、合熊野、西目、延和
十五歳、札所
泉涌寺ヨリ、北東ニ、アリ
熊野社、大仏、南
泉涌寺、出
後白河帝御願記、カキ、移
道



箱荷大社

官幣大社箱荷社、祭神宇賀御魂
 佐田彦神、大宮能貴神、田中社、大八島
 神、上五座、奈ル元明天皇和銅四年
 二月初午、日宿荷山三ツ峰ニ鎮
 齊シ奉レリ、延喜八年藤原時平
 公三箇社ヲ造営シ、應仁兵亂後今
 ノ地ニ神殿ヲ遷ス、天正十七年豊
 臣秀吉公本社ヲ造営令ノ木
 殿是ナリ
 伏見街道大鳥居前ニ箱
 荷停車場アリ、又疏水線
 沿アリ、赤詣舟利頗ル
 ヨリ

欠

MISSING

伏見觀月橋

觀月橋 元豐後橋トミ

一 新橋 鐵橋トナリテ改メス

町 大坂五公宮ノ十町ノ末ノ御

幸吉翁神神功皇王ヲ拜敷表門ハ

秀吉ノ枕山城ヲ移メ○ス城山ニ植武帝御陵

及全城園植席アリモ美奈ヲ挑梅ノ名所ナリ

空・治橋 孝徳天皇大化三年架メ長ナク

三間余治長羊蹄ノ所ナリ。豊臣公ニ間

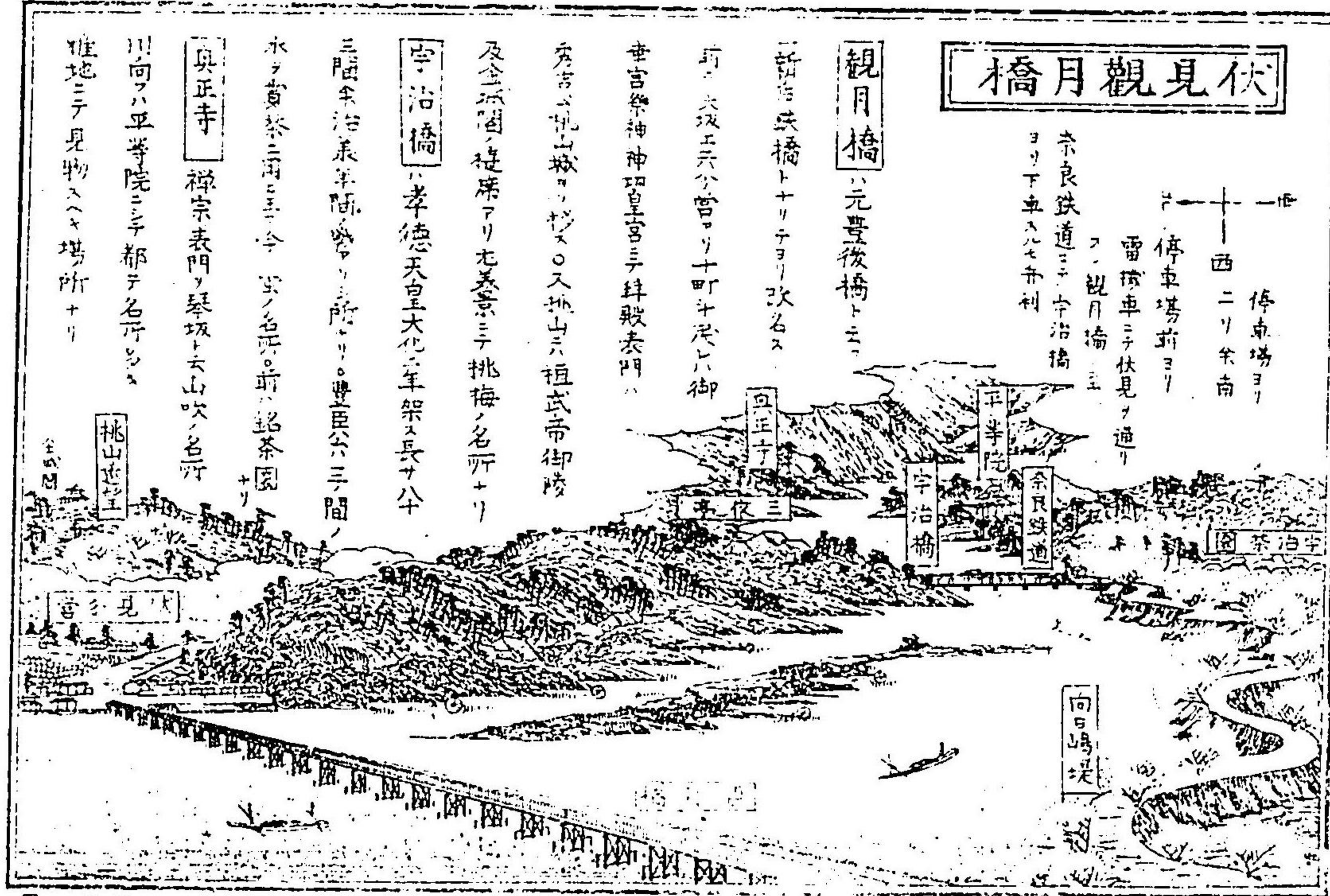
水ヲ貫テ三間ニ今 公ノ名所。前 此茶園

眞正寺 禪宗表門ノ翠坂ト云山吹ノ名所

川向ハ平等院ニテ都テ名所ナリ

此地ニテ見物ノ場所ナリ

停車場ヨリ
西ニリ余南
停車場前ヨリ
雷環車ニテ伏見ヲ通り
ス。觀月橋
奈良鉄道ニテ宇治橋
ヨリ下車ハ便利





平等院

平等院、初河原元大
 臣別荘ナリ其右陽成院
 此地行宮ヲ建ラレ后々
 長徳四年御堂関白
 ノ山荘トシ権足見地
 ナリ后中治関白頼通
 公承承七年ニ寺トナシ
 平等院ト号ス又鳳凰
 堂ト云金銅ノ以テ造リ
 一千余年ノ銘堂ナリ
 縣社 淨土寺ノ夜子ニ
 アリ五日五例祭
 諸國ヨリ来詣多
 シ祭ル神ハ子嗣
 道鏡ノ壺ナリト
 停車場
 ヨリ
 三ツ
 大
 寺
 淨
 土
 寺
 此門ニ社

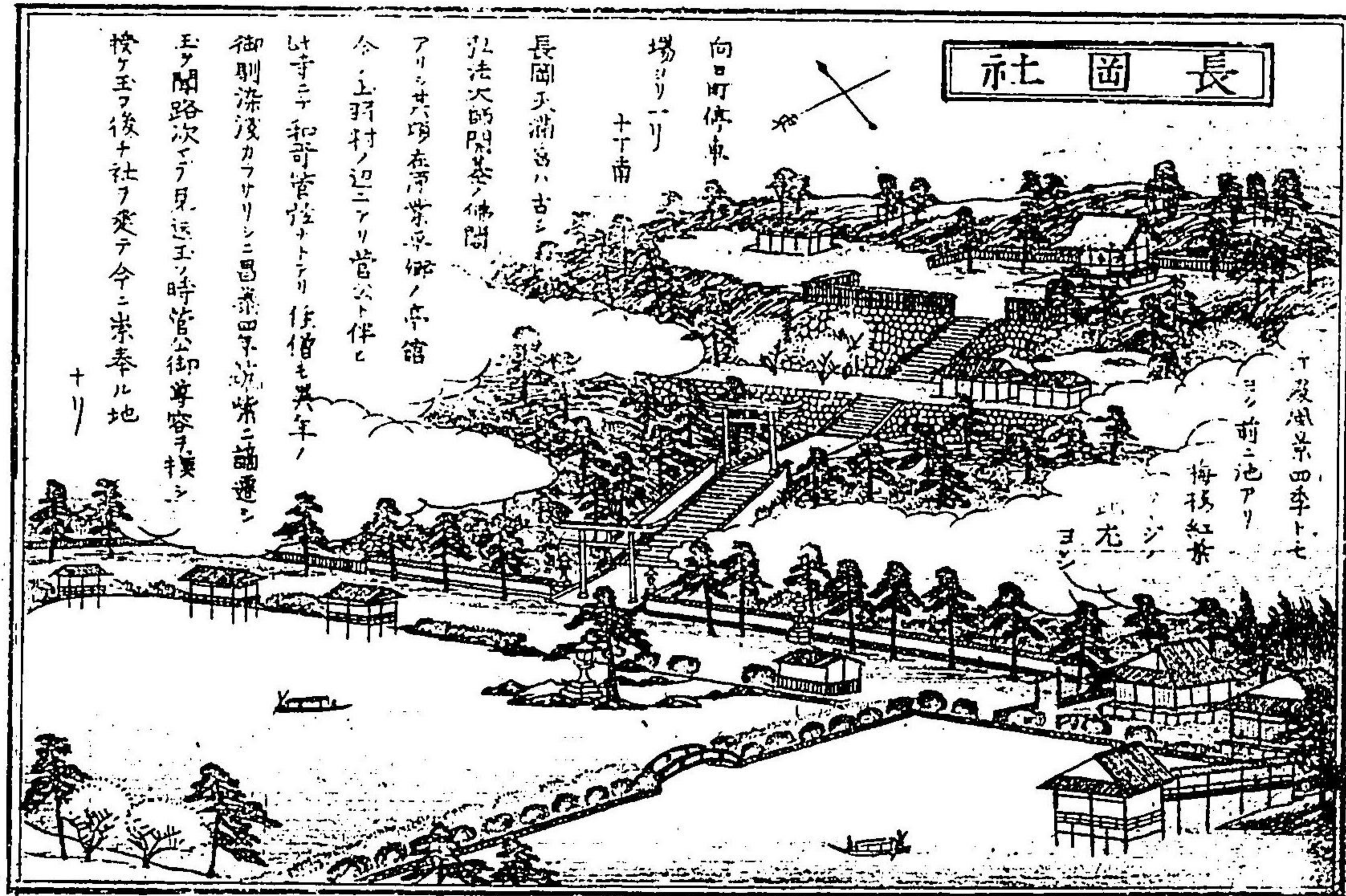
号ニ册芽



黄驛山

黄驛山萬福寺ハ
 關山隱元国師大明福初
 清ノ人シテ本朝承應三
 年ニ東渡シ方治二年公命
 ニ依テ此地ヲ賜リ寛文元年
 加益ヲ草創シ精舎異風
 ヲ寫シテ名ツク同年三年
 四月後水尾上皇ヨリ大光普照
 国師ノ号ヲ賜テテ坂本山セ
 三ツ室戸
 黄驛ヨリ
 二十ニ東ニテナル
 天台宗本尊観世音也
 開基智證大師西國
 巡礼第十卷
 札所ナリ
 此門ニ社

号ニ册芽



長岡社

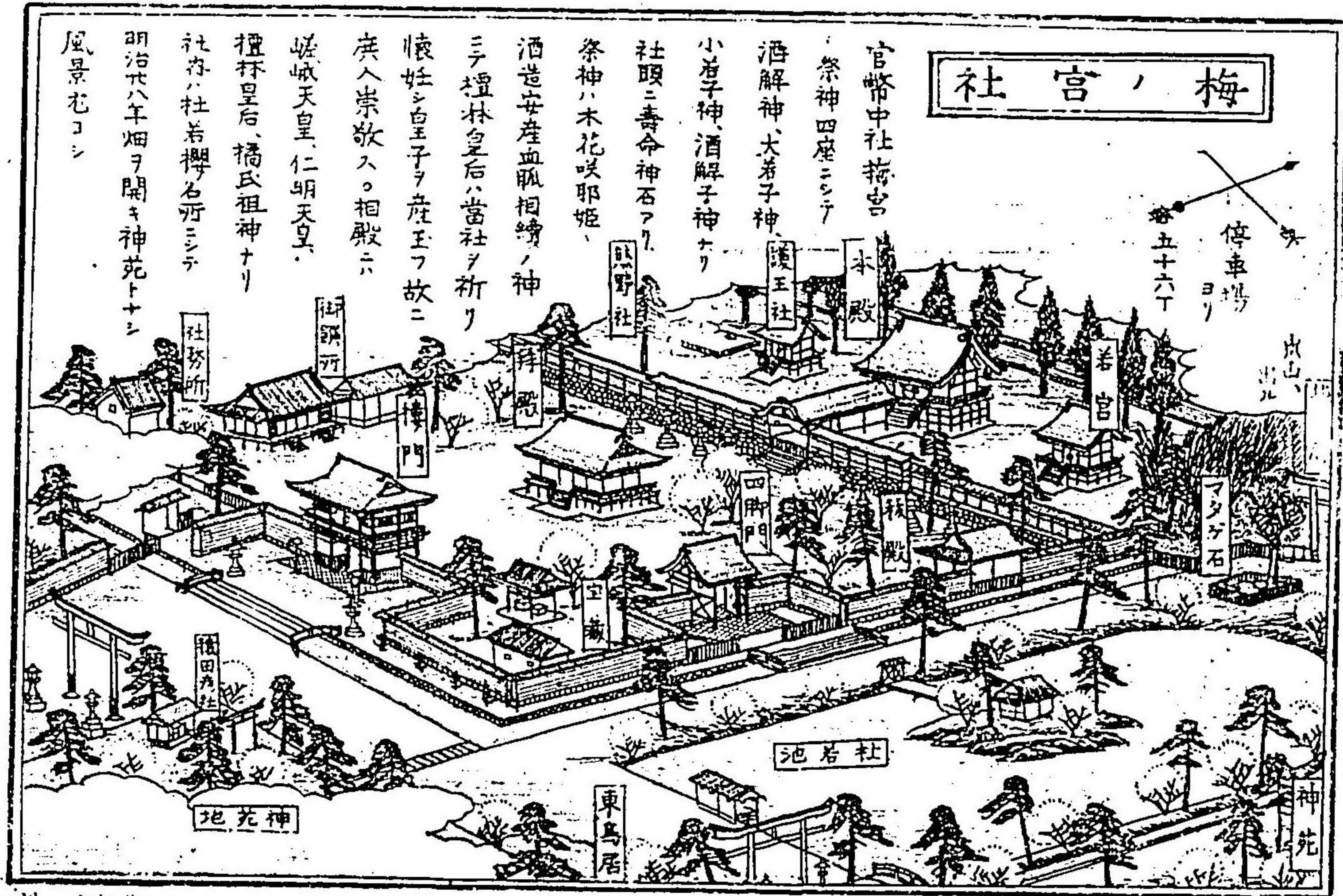
向町休車
場あり
十丁南
長岡天満宮ハ古
弘法大師開基ノ佛閣
アリニ六坊在テ淨業草履ノ亭館
今・上野村ノ辺ニアリ昔公ト伴
ト寺ニテ和奇管弦トアリ住僧モ其年ノ
御別添渡カワリリニ昌業四年ノ味ニ誦運
玉ノ開路次ニテ見送玉ノ時管公御尊容ヲ模
倣シ玉ノ後ト社ヲ愛テ今ニ崇奉ル地
ナリ

十及風景四季トモ
ヨシ前ニ池アリ
梅橘紅葉
ヨシ



八幡大社

京都ヨリ
南ニ當リ
四リ
仁徳社
山崎傳車ヨリ
下車レ帆渡
ノ舟ヲ向テ
十二丁余
官路ニ江男山神社
八幡宮ハ延神天皇
玉作姫尊 神功皇后ノ三
坐ヲ祭ル所ナリ清和天
皇ノ夏鏡八千次和國六女
ナリ沙門行教和尙ニ神託
アリテ母前國守佐郡小
倉山ヨリ我王城世キ所ニ
遷座シ國家安泰ナサシト有
リテ遂ニ此山ニ神殿ヲ宮テ永ク
崇敬シ玉ヲ
又名旭峯
石清水男山
八幡吉ト敬ヒ
奉ル神社ナリ



梅宮社

官幣中社梅宮
祭神四座ニシテ
酒解神、大若子神、
小若子神、酒解子神ナリ
社頭ニ壽命神石アリ
祭神ハ木花咲耶姫
酒造安産血脈相續ノ神
ニテ壇林皇后ハ當社ヲ祈リ
懐妊シ白王子ヲ産王ヲ故ニ
疾ハ崇敬ス。相殿ニハ
嵯峨天皇、仁明天皇、
檀林皇后、橘氏祖神ナリ
社内ニ杜若櫻名所ニシテ
明治廿八年畑ヲ闢キ神苑トナシ
風景尤コシ



松尾大社

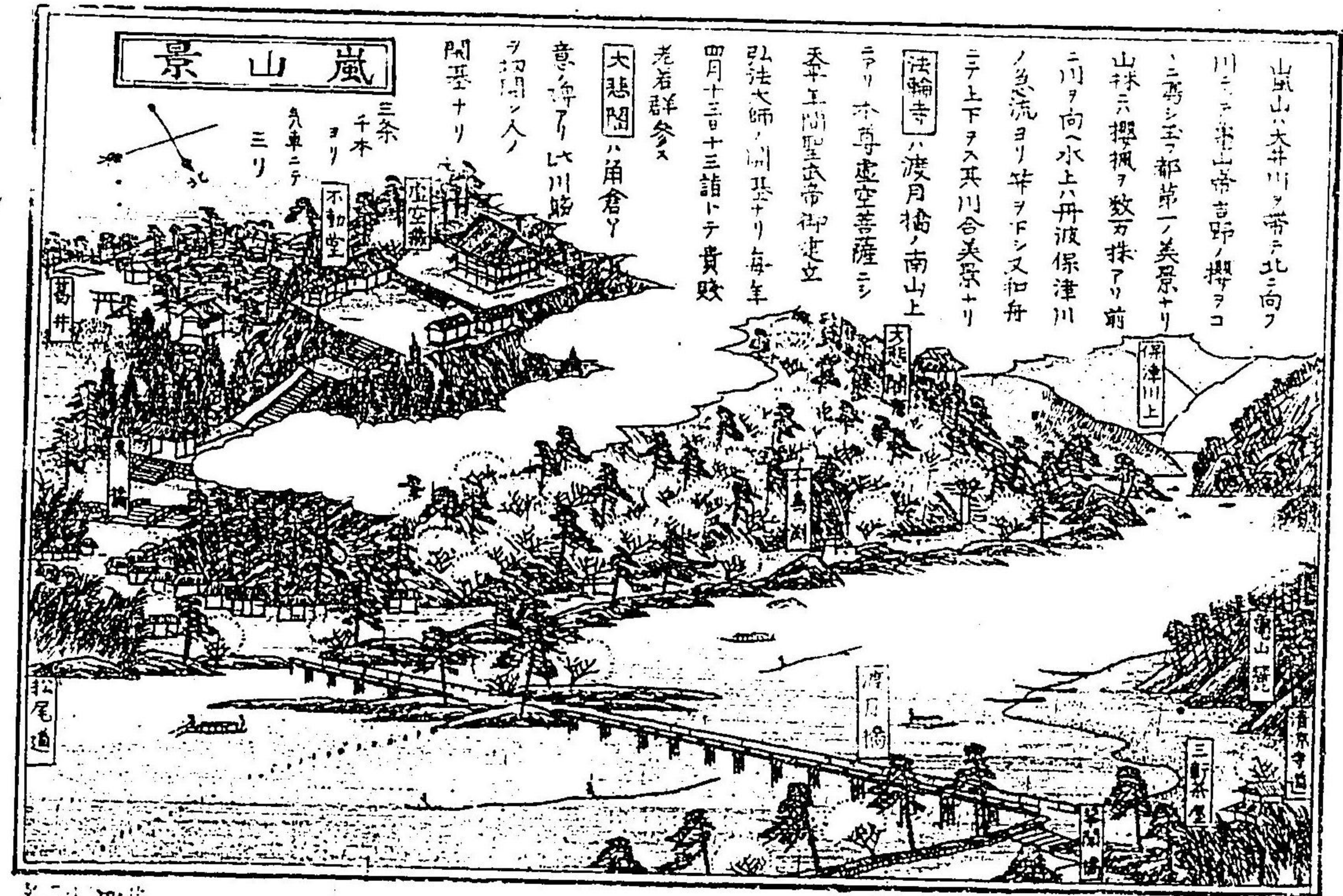
是ヨリ
流山道
東門
停車場ヨリ
五十八丁
西ニ
當ル
社務所
本宮
木社
新宮

官幣大社松
尾神社ノ祭神
大山咋神、市杵嶋姫
ニ座ニシテ、大室元軍
ニ系都理ト云ラ人社ノ産
分主ヨリ遷シ奉ル別々
加茂ノ丹塗ノ失化ニシテ
松尾ノ神ト現ク此神消
類ヲ世ル業ヲ實リ玉ヲ
故ニ大杉谷ヨリ湧出ル神水ヲ如
ク醸造セハ腐取ナシトニ



妙心寺正法山ハ臨
 濟宗派大本山開基
 關山園師花園天皇禪
 宗ヲ叙既ニミ離宮ヲ
 革ノ妙心寺ト号ス
 境内玉鳳院ハ法
 皇樓ニヒシキ
 ナリニ世授符和
 尚百萬小路藤房々々
 ナリ六世寺江和尙ナリ
 堂前ニ大樹老松アリ
 雪江松ト云フ又北門ヲ
 出ハ龍守アリ大明年中ニ
 細川勝元イテシテ初ハ元大
 實能公山莊ナリ池引水島ニ
 リヲシリン名所高き佳池ナリ

号三卅第



嵐山ハ大井川ヲ帯ヒ北ニ向フ
 川ニテ中ノ山帝吉野ノ櫻ヲコ
 ニ寄シ至テ都第一ノ美原ナリ
 山林ニ櫻楓ヲ數万株アリ前
 ニ川ヲ向ハ水上下丹波保津川
 ノ急流ヨリサヲ下シ又和舟
 ニ上下テス其川合美原ナリ
 法輪寺ハ波月橋ノ南山上
 ナリ亦尊虚空菩薩ニシ
 奉王開聖武帝御建立
 弘法大師開基ナリ毎年
 四月十三日十三詣トテ貴賤
 老若詳參ス
 大悲閣ハ角倉ノ
 意寺アリ以川路
 ヲ開シ人ノ
 閑基ナリ
 三條
 千本
 三ノリ
 不物堂
 八車ニテ

号二四第



金閣寺

金閣寺、禪宗鹿苑寺ト号ス
 應永四年將軍義満
 公高閣ヲテ金鉤ヲ
 以柱ニ三重高閣建テ
 第一法水院第ニテ
 湖音洞第三寃竟
 頂ト云駒ニ池廣シ
 数多奇石アリテ池
 ヲ鏡湖ト号ス又
 方丈茶室ニ南天
 床柱ハ金森宗和ノ
 好ナリ風景ハ諸人
 ノ宜ク

第十四号



梅尾寺

梅尾山高山寺ハ華嚴宗
 ニテ木草釈迦如来開基
 ハ明惠上人ナリ十六歳ニシ
 テ剃落シ南都東大寺ノ
 戒壇ニ於テ受具シ與然阿
 闍梨ニシテ定法ヲ受テ
 后美住ト初撰ニ上人ニ号
 シシテ茶ヲ治テ飲ハ智人
 ナリ

梅尾寺ニテ
 草言宗開基ハ智泉法師ト
 尊釈迦如来明惠上人ナリ

梅尾山
 梅尾山ニテ
 宗天衣子弘法大師ニ賜リ
 都紅葉第一名所ト云矣ヨリ

第十四号



平野大社

官幣大社平野神社
 祭神四座ニテ第一ハ
 今木神 日本武尊 第二ハ
 久廣神 仲哀天皇 第三ハ
 古閑神 仁徳天皇
 第四ハ比咩神 天照太
 縣社ハ天穗日命 中原 清原
 四世ノ氏神ナリ社祖武天
 皇延暦年中ニ建立シ也
 清和天皇貞観六年神
 位正位ノ宣下アリ且社
 内ニ銘樹ノ櫻木数々
 アリテ此ハ夜櫻トテ市民
 名ニ詣テ賑フナリ
 寺持院 衣笠山ノ足利尊
 氏公建立シテ足利家累代
 菩提所ナリ

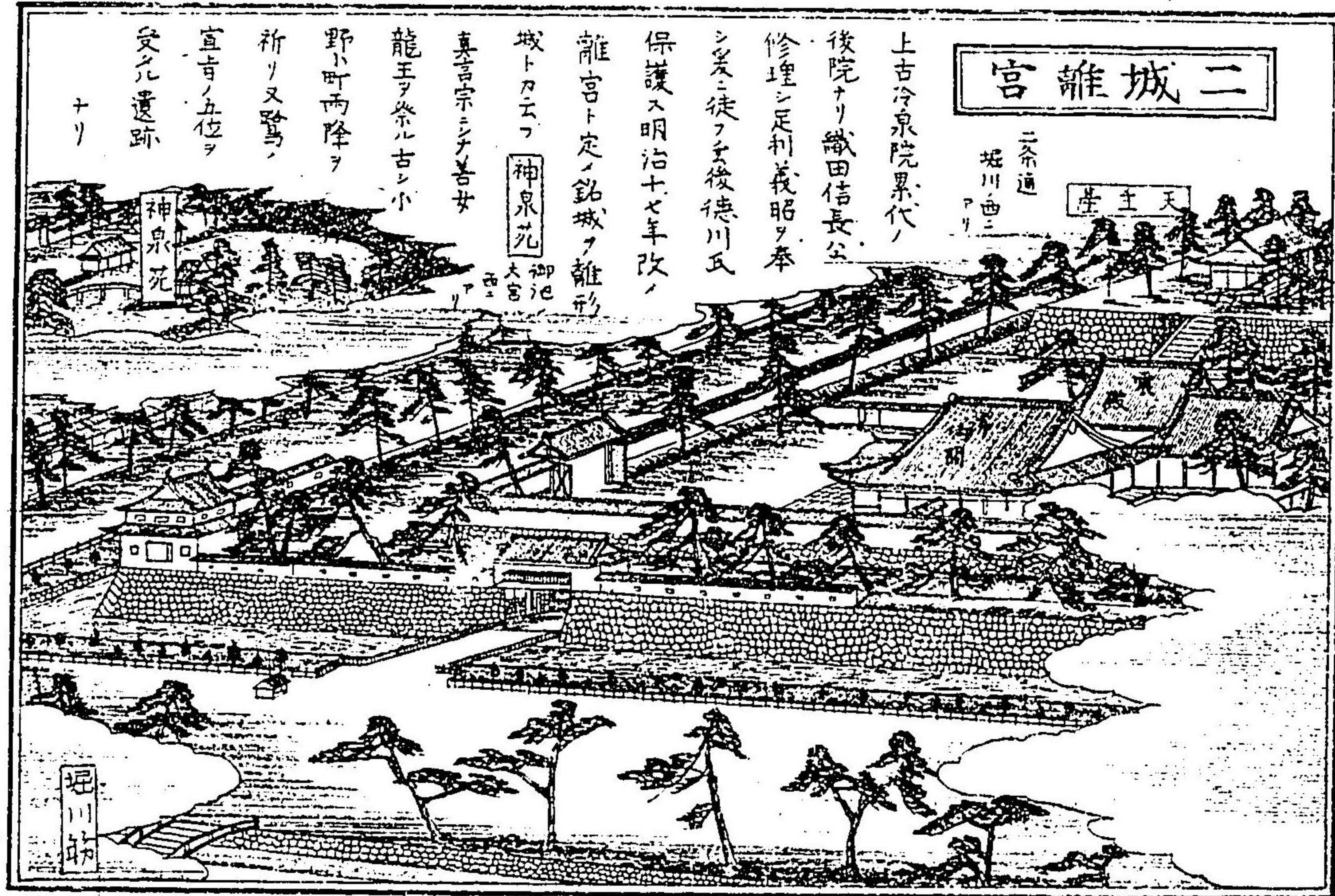
第七十四号



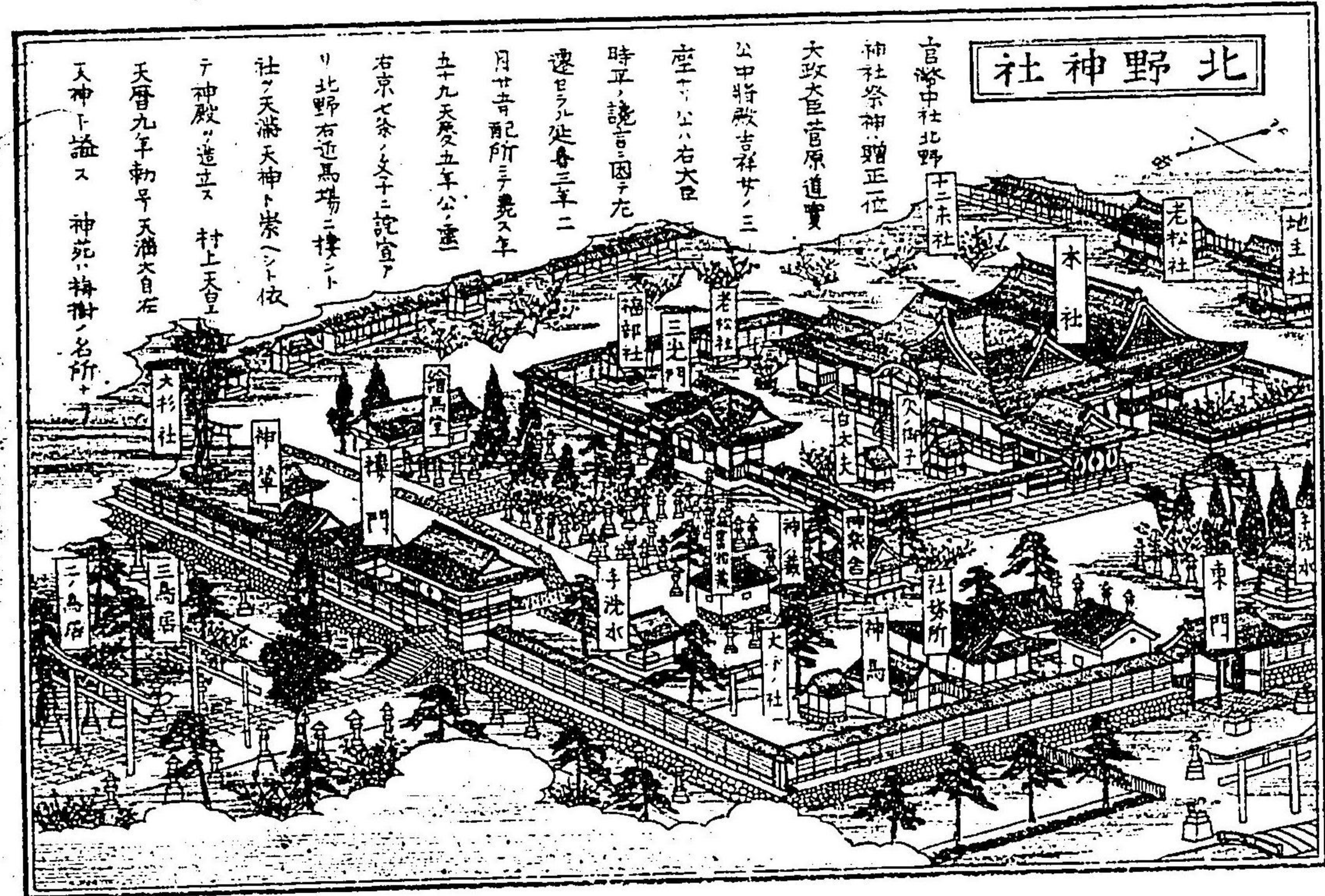
御室

御室仁和寺ハ真言
 宗ノ吳池子始ノ先
 天皇仁和四年ニ六阿山ノ
 麓ニ創立シテ御代ノ法
 親王ヲ御門跡ト称シ此寺
 ヲ御室ト号ス宇多天皇
 御出家ノ后延喜
 元年正月此所ヲ定
 サセテ又兼平ノ
 御門ニ天曆六年
 御出家アリテ今ニ
 御室御所ト
 尊敬ス本草
 阿弥陀住祖世音
 大施堂ハ自作ノ
 像ヲ安置ス雷山
 ハ佳境ニテ櫻多
 山ニ八公公所ノ吳堂
 アリテ風景尤
 美ナリ
 八幡宮
 七条停車場
 一ノ里
 北西

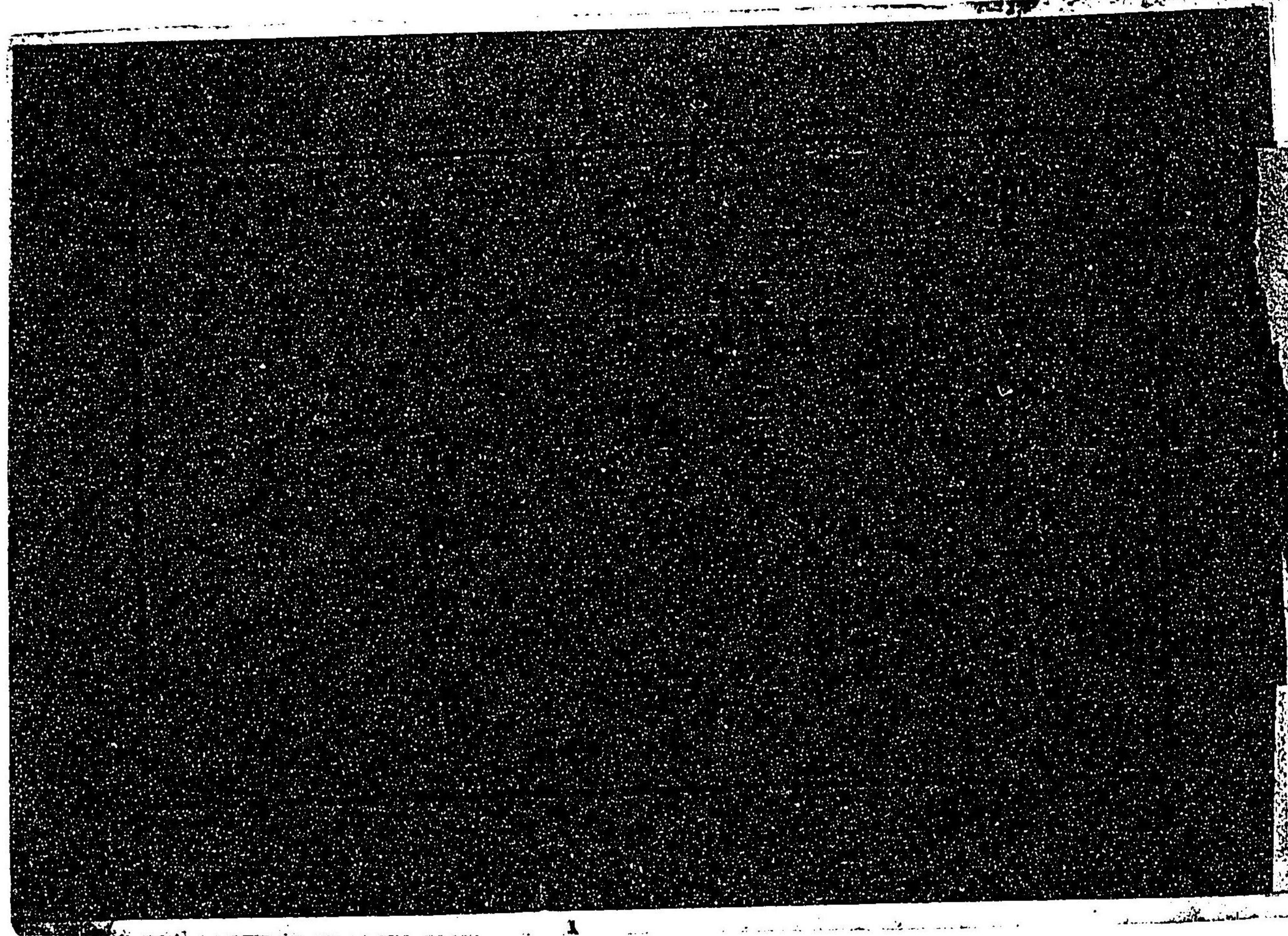
第六十四号



第百四号



第百八号



東寺



東寺五重塔

東寺

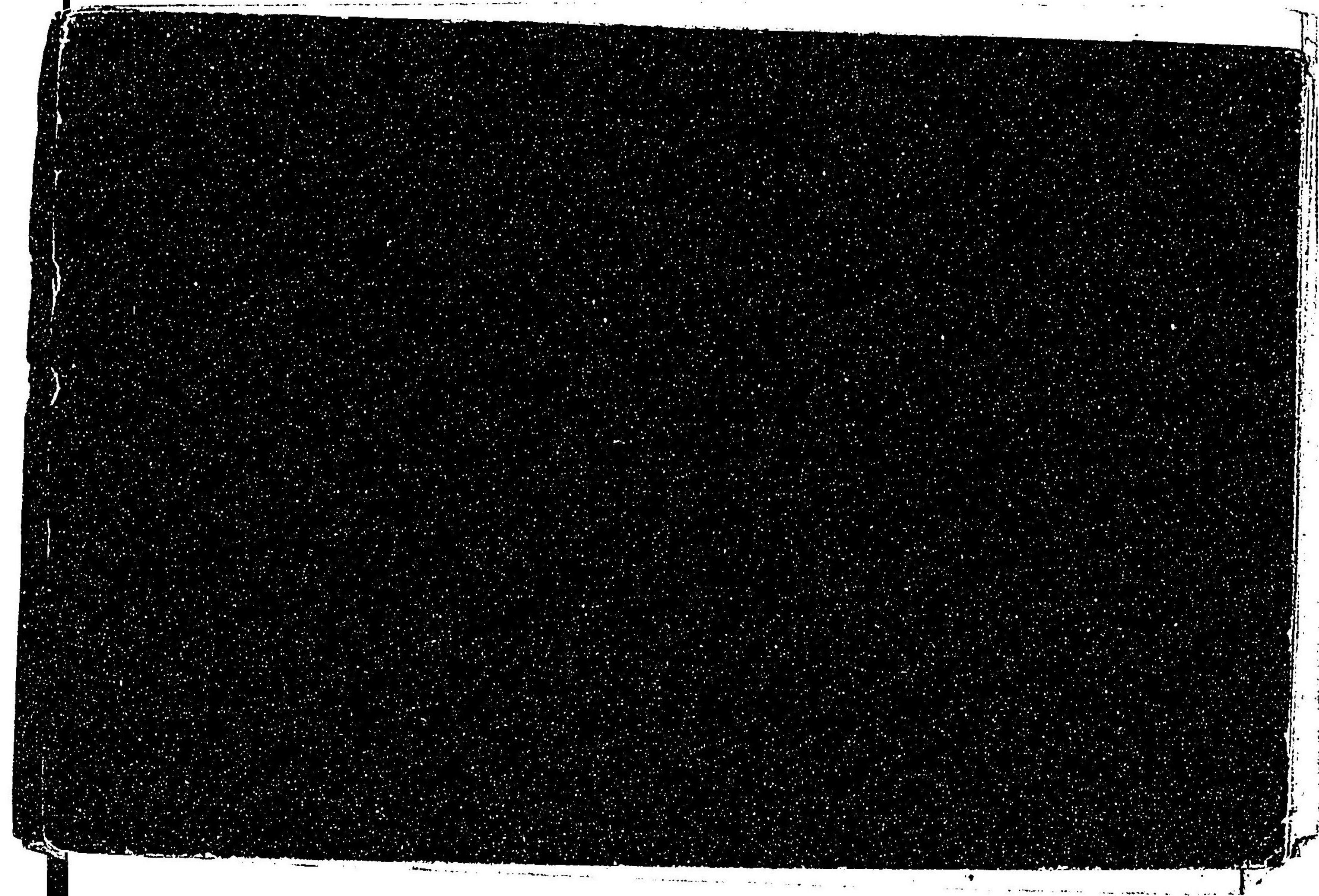


此寺在東山... 總持院... 法華堂... 大藏經院... 講堂... 僧堂... 齋堂... 浴室... 廚房... 僧寮... 僧房... 僧舍... 僧院... 僧園... 僧林... 僧塔... 僧碑... 僧石... 僧塔... 僧碑... 僧石... 僧塔... 僧碑... 僧石...

明治廿年三月十二日印刷
同日發行

京都府京區東洞院四條下元町三丁目
十番戶
著作者兼
印刷發行
者
石田有年

賣別所 京都書林



特60

809

025681-000-3

特60-809

都名処社寺境内之細図

石田 有年 / 著

M30

ADC-3203

